

宇佐美 さやか 対



カジノ実施法強行採決に抗議！ 横浜にカジノはいらない！つくらせない！



カジノ実施法強行採決に抗議する党市議団他＝6月15日 関内駅

カジノ法案は、6月15日、自民、公明、維新の3党が衆議院内閣委員会で強行採決。今国会での成立に世論は反対多数です。

強行採決に先立ち、日本共産党横浜市議員団（9人）は、関内駅前「強行採決をゆるさない」「市民の声を聞け」「横浜にカジノはいらない」と抗議のスタンディングを行いました。

ギャンブル資金の貸付許可、管理委員会にカジノ業者入り…問題続出

カジノ実施法案は、わずか18時間の審議のなかで、カジノ事業者による客への資金貸し付けが依存症や多重債務者の拡大につながることや、カジノを規制する管理委員会の事務局にカジノ事業者が入ることなど重大な問題が明らかになっています。

議会が手を上げなければカジノはこない…カジノNO!の議会を

マイクを握ったあらき由美子団長は、「国民の多数が反対しているのに、ろくな審議もしないで強行採決することは許せない。横浜も（カジノ誘致が）狙われているが、市長と議会が手を上げなければ、カジノはやってこない。カジノ反対の市民と力を合わせ、横浜へのカジノ誘致を絶対に許さない取り組みを強めていく。カジノに反対する議会をつくらう」と訴えました。

抗議スタンディングには、大山奈々子県議会議員、加藤リカ（市会・緑区）、高宮みち子（市会・泉区）、蓮池ゆきお（市会・磯子区）も参加しました。